



2025年大阪・関西万博基本計画の概要



提供:2025年日本国際博覧会協会

みんなでアイデアを持ち寄り考える共創型の博覧会
 2025年4月、関西で55年ぶりとなる『大阪・関西万博』が開催されます。昨今の気候変動、環境問題、飢餓、経済的格差等の世界共通の課題、そして新型コロナウイルスが人類にもたらした新たな課題にいかに対応するか、「未来社会の実験場」である大阪・関西万博を最大限活用し、みんなでアイデアを持ち寄って考える共創型の博覧会です。

既に全国から様々なアイデアが寄せられており、もちろん京都企業からも寄せられています。この万博は世界的な課題の解決にいかにも貢献できるかを示す絶好の機会にもなります。

会場は大阪「夢洲」
 万博会場は大阪湾にある人工島の夢洲(ゆめしま)。京都からは電車や車で1時間強のアクセスとなります。万博来場者が大阪・京都・神戸へ足を延ばし観光、消費する事により、「ポストコロナ」の関西経済の起爆剤としての期待が寄せられています。



提供:2025年日本国際博覧会協会

テーマは「いのち輝く未来社会のデザイン」、「コンセプトは「People's Living Lab(未来社会の実験場)」

国連サミットで採択された2030年を目標年次とする「持続可能な開発目標(SDGs:17の目標)」を達成して「SDGs」が求められています。大阪・関西万博では、3つのサブテーマ「Saving Lives(いのちを救う)」「Empowering Lives(いのちを力を与える)」「Connecting Lives(いのちをつなぐ)」を設定し、「この3つの「Lives」にフォーカスしながら、持続可能な開発目標を解決し、「いのち輝く未来社会」をデザインします。

「未来社会」をデザインします。

万博会場は、わが国をはじめ、世界各国が国際社会の諸課題解決に向けた技術やアイデアを共有し、SDGsの達成に貢献する「People's Living Lab(未来社会の実験場)」となります。

【大阪・関西万博の開催概要】

名称	2025年日本国際博覧会(略称「大阪・関西万博」)
テーマ	いのち輝く未来社会のデザイン
サブテーマ	Saving Lives(いのちを救う) Empowering Lives(いのちに力を与える) Connecting Lives(いのちをつなぐ)
コンセプト	People's Living Lab(未来社会の実験場)
会場	夢洲(大阪市臨海部)
開催期間	2025年4月13日(日)~10月13日(月)
来場者数	約2,820万人(想定)

基本計画のポイント

昨年12月25日に公益社団法人2025年日本国際博覧会協会より大阪・関西万博の基本計画が公表されました。

基本計画とは、大阪・関西万博のテーマである「いのち輝く未来社会のデザイン」を体現するさまざまな参加形態や事業、会場計画、運営計画等をまとめたマスタープランで、万博の



提供:2025年日本国際博覧会協会

開催に「必要な事業の方針」を示したものです。これをもとに、輸送や催事などの各分野の計画が作られます。参加国や国際機関、企業、団体、自治体、市民団体等の皆様の積極的な参加を促していきます。テーマに沿った提案があればぜひお寄せください。

1 海と空を感じられる会場
 大阪・関西万博の会場は、四方を海に囲まれたロケーションを活かし、世界とつながる「海」と「空」が印象強く感じられるデザインとします。円環状の主動線を設け、主動線につながるように離散的にパビリオンや広場を配置することで、誘致の時から「非中心・離散」の理念を踏襲しつつ「つながり」を重ね合わせた「多様でありながら、ひとつ」を象徴する会場が生み出されます。

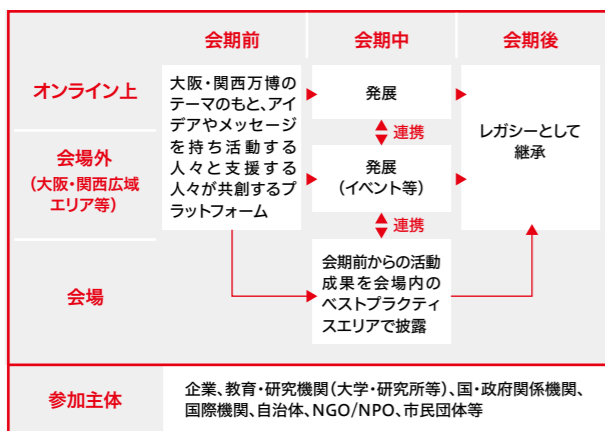
2 世界中の「いのち輝く未来」が集う万博

大阪・関西万博では、150の国と25の国際機関をはじめ、企業やNGO/NPO、市民団体等が、世界中から「いのち輝く未来社会」への取り組みを持ち寄り、SDGsの達成とその先の未来を描き出します。そのための具体的な取り組みとして、各界のトップランナー8人が自ら創り上げるテーマ事業や、会期前から会期後までを通して行うベストプラクティスの共創事業「TEAM EXPO 2025」プログラムなどが行われます。

【企業・団体の参加】

パビリオン出展 (敷地渡し方式) 建ぺい率70%以下(原則) 高さ制限12m以下程度 敷地面積約3,500㎡(9区画程度) 一部を共同館とする場合も想定	テーマ事業協賛 主催者が企画するテーマ事業に協賛者として参加 資金協賛 設備・サービス提供	
未来社会ショーケース事業参加 企業・団体が持つ先端技術やシステムを用いて、会場内での実証や実装を行う 先端技術・システムの提供・運用	「TEAM EXPO 2025」プログラム参加 会期前より2025年に向けてテーマの実現を目指して共創する取組への参加及び協賛 テーマ実現に向けた活動の創出・支援 資金協賛	
催事参加 主催者催事への協賛又は参加催事の持ち込み 資金協賛 催事プログラムの持ち込み	営業参加 物販・飲食・サービスによる参加 会場内営業施設出店 ライセンスビジネス参加	その他 指定寄附 施設提供・貸与 広報参加 運営参加

【TEAM EXPO 2025】プログラム



いのちを知る	福岡 伸一(生物学者、青山学院大学教授)
いのちを育む	河森 正治(アニメーション監督、メカニックデザイナー)
いのちを守る	河瀬 直美(映画監督)
いのちをつむぐ	小山 薫堂(放送作家、脚本家)
いのちを拡げる	石黒 浩(大阪大学教授、ATR石黒特別研究所客員所長)
いのちを高める	中島 さち子(音楽家、数学研究者、STEAM教育家)
いのちを磨く	落合 陽一(メディアアーティスト)
いのちを響き合わせる	宮田 裕章(慶応義塾大学教授)

【各界のトップランナー8人が創り上げるテーマ事業】

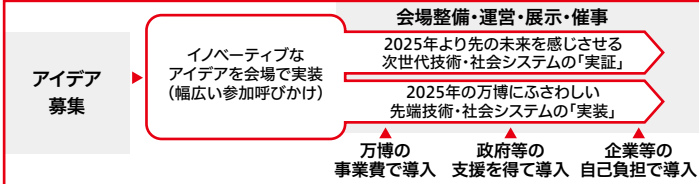
3 未来の技術と社会システムが見える万博

大阪・関西万博のコンセプトである「People's Living Lab(未来社会の実験場)」に基づき、カーボンニュートラル、デジタル技術、次世代モビリティなど、最先端の技術や社会システムを会場や運営、展示等に活用する未来社会ショーケース事業が行われます。さらに、ARやVRなどの先端技術を活用して、会場を訪れることのできない人でも会場外から大阪・関西万博を体験することのできるバーチャル万博が実施されます。

【バーチャル万博】

	万博会場内(案内、展示、催事)	万博会場とは別のプログラム
万博会場	会場内の展示や催事、運営サービスをバーチャル技術を用いて高度化	
オンライン空間	会場外からアバターで参加可能な万博会場をオンライン空間上に展開	会場の内容とは別のプログラムをオンライン空間上で展開

【未来社会ショーケース事業】



4 本格的なエンターテインメントを楽しめる万博

ウォーターワールドの水上ショーや会場内の施設や通路を用いたプロジェクションマッピング、イベント広場や催事場など大小様々なステージで行う音楽や芸能などの催事、伝統芸能やポップカルチャーなどの展示体験催事、全国各地の祭りやパレードなどにぎわいと感動にあふれた本格的なエンターテインメントが楽しめる万博となります。



提供: 2025年日本国際博覧会協会

5 快適、安全安心、持続可能性に取り組み万博

過剰な混雑が生じないよう、電子チケットを活用した、入場事前予約制度やパビリオン予約制度等の導入を検討するなど、平準化に積極的に取り組み、快適な万博体験の実現を目指しています。さらに、感染症対策や防災対策、サイバーセキュリティ対策による安全安心の実現、サステナブルやインクルーシブなど持続可能性に配慮した運営などが予定されています。

「平準化」への取り組み	「安全安心」への取り組み	「持続可能性」への取り組み
入場できる期間や時間帯を限定した入場券の設定	感染症対策	サステナブルな万博運営
入場事前予約制度	防災対策	インクルーシブな万博運営
電子チケットの導入	リスク対策	
パビリオン予約制度	情報セキュリティ対策	

テーマに沿った取り組みならどなたでも参加できます

「TEAM EXPO 2025」共創チャレンジ

「のち輝く未来社会のデザイン」を実現するため、自らが主体となって未来に向けて行動を起こしている、または行動を起こそうとしているチームの活動を募集中です。そして、皆様が達成したいことを世の中に「宣言」していただきます。分野は問いません。応募はこちらを「確認」ください。
(<https://team.expo2025.or.jp/ja/apply>)

実証・実装したい「未来社会」のアイデアを幅広く募集!

「People's Living Lab」
2025年の万博会場等で実装あるいは実証する「未来社会(SDGs達成+Beyond Society 5.0等の実現)」のアイデアに「いい提案を募集」中です。

万博会場等で実現したいアイデアの新規性や、そのアイデアの実装や実証の実現に向けて必要な環境・条件・事業・実証パートナー、規制・制度面、支援(資金的支援、実証の機会・場所の確保等)等についても提案ください。
(<https://www.expo2025.or.jp/plu/proposal/>)

2025年日本国際博覧会協会Webサイトで随時情報発信中

催事参加、営業参加、そのほかの参加方法については、今後2025年に向けて準備が進む中で発表される予定です。ご興味をお持ちの方はWebサイトをご覧ください。
(<https://www.expo2025.or.jp/>)

京都商工会議所では、今後とも会報誌やセミナー開催を通じて、大阪・関西万博に関する情報を会員の皆様にお伝えしてまいります。